

経営方針説明

代表取締役社長 CEO 阿多 親市

2015年6月17日
第27期定時株主総会資料より抜粋

ソフトバンク・テクノロジー グループ経営方針



大きく成長する

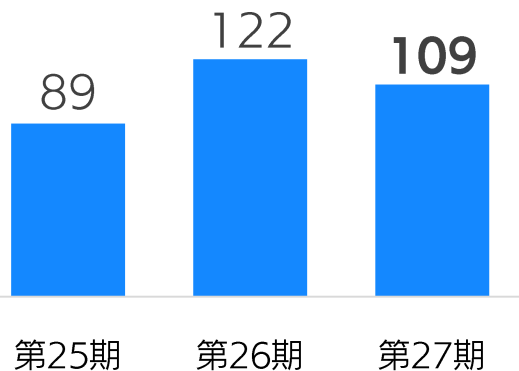
- ソフトバンクグループ各社との連携
- 注力事業の拡大
- 新たな事業基盤の立ち上げ
- 強固な収益基盤の確立

- ソフトバンクグループ各社との連携
- 注力事業の拡大
- 新たな事業基盤の立ち上げ
- 強固な収益基盤の確立

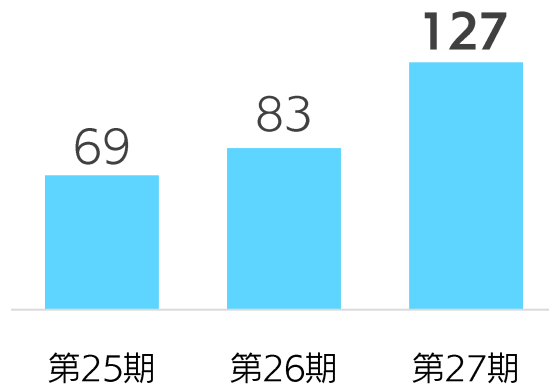
ソフトバンクグループ各社との連携

SBグループ内 売上高

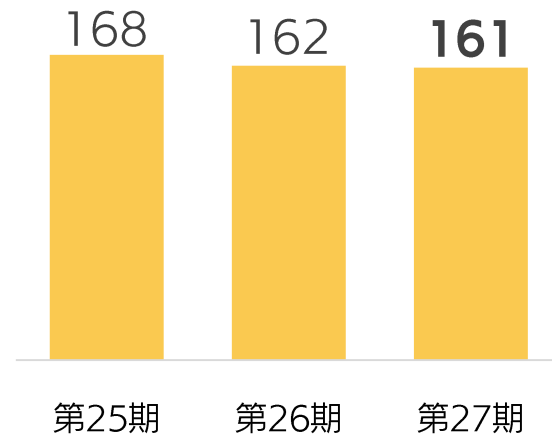
(億円)



SBグループ外 売上高



EC売上高(個人)



■ SBグループ向けの機器販売が減少
前期比 △12億円 (△10.5%)

■ SBグループとの共同提案が増加
前期比 +43億円 (+51.7%)

シナジーの進展

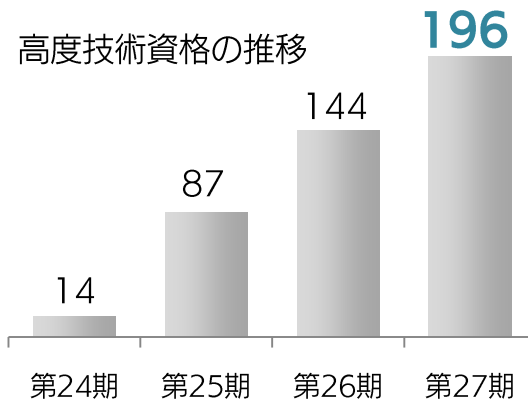
「SBグループの事業支援」から「SBTサービス展開パートナー」へ

SB新規事業での協業



先端テクノロジー分野で
SBグループ各社と連携

先端ICT技術の修得



通信・流通事業の支援で
先端技術を経験、ノウハウ蓄積

販路の拡大

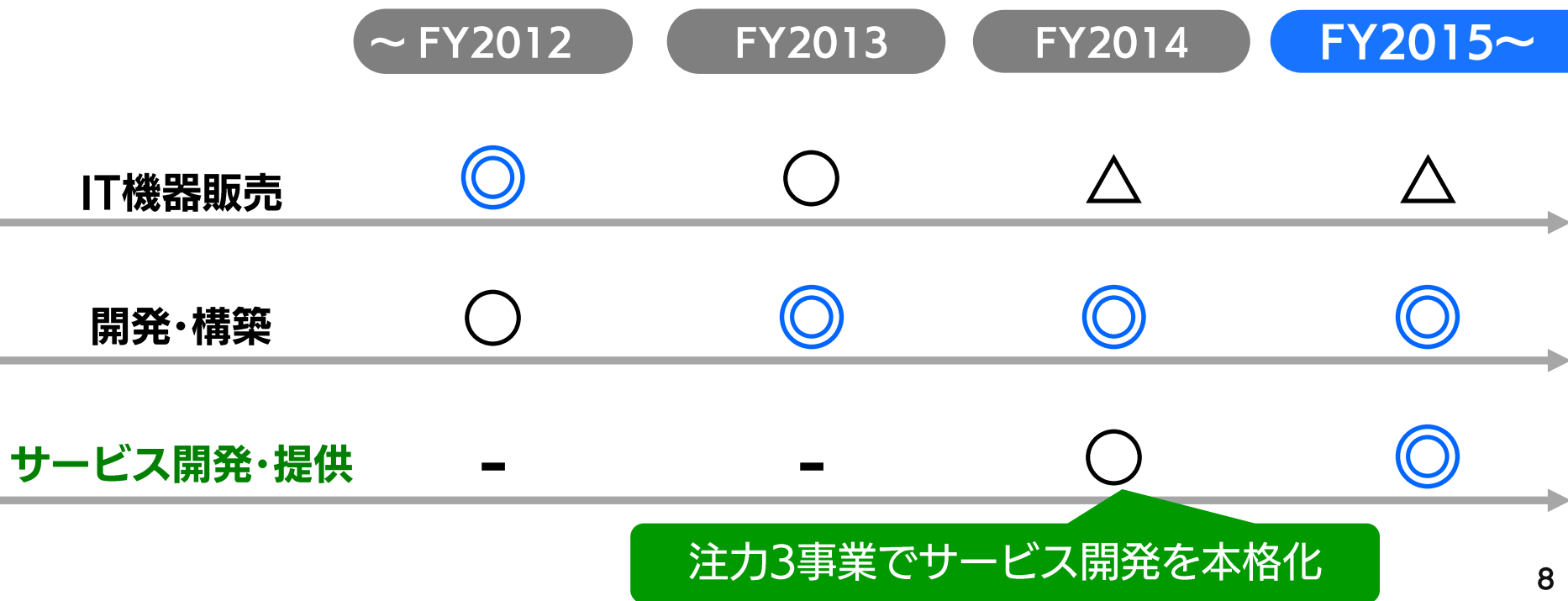


注力事業を軸に
協業して案件獲得

- ソフトバンクグループ各社との連携
- **注力事業の拡大**
- 新たな事業基盤の立ち上げ
- 強固な収益基盤の確立

事業構造の転換

機器販売から、サービス販売へ



セキュリティソリューション



実績

標的型攻撃、情報漏えい対策サービスを強化

今後の方針

1 サービス提供から、包括的なソリューション提供へ



標的型メール対策サービス



脆弱性調査レポート



業界初、AD診断

データアナリティクス



実績

セキュリティ、マーケティングの分析サービスを開発

今後の方針

自社サービスの拡販と、SBTの認知度向上



4DP LogSearch

社内ログの可視化サービス



AdMetrics

広告最適化サービス

みやすい解析

公共向けWeb解析サービス

マイクロソフトソリューション

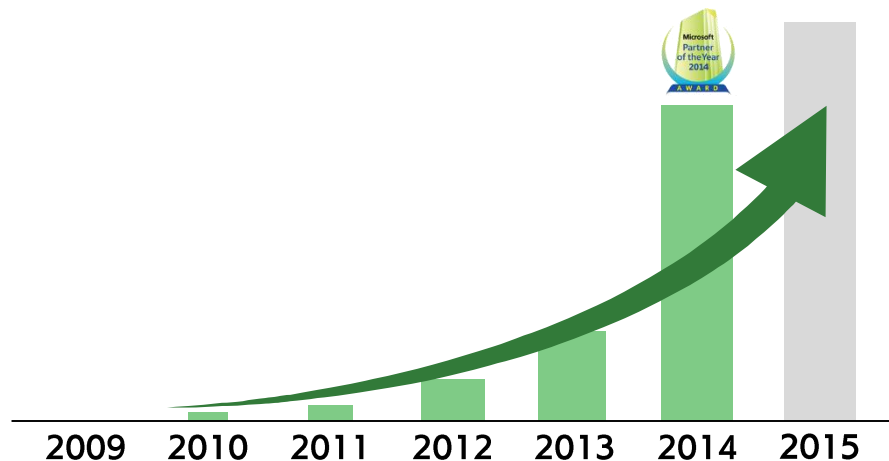


実績

エンタープライズ「Office 365」導入実績 No.1

今後の方針

No.1の実績・ノウハウをもって事業を拡大



クラウド導入実績 2015年3月末時点(※1)

409社 66万 ユーザー

Office 365

自社サービス(※2)

35万 ユーザー

29万 ユーザー



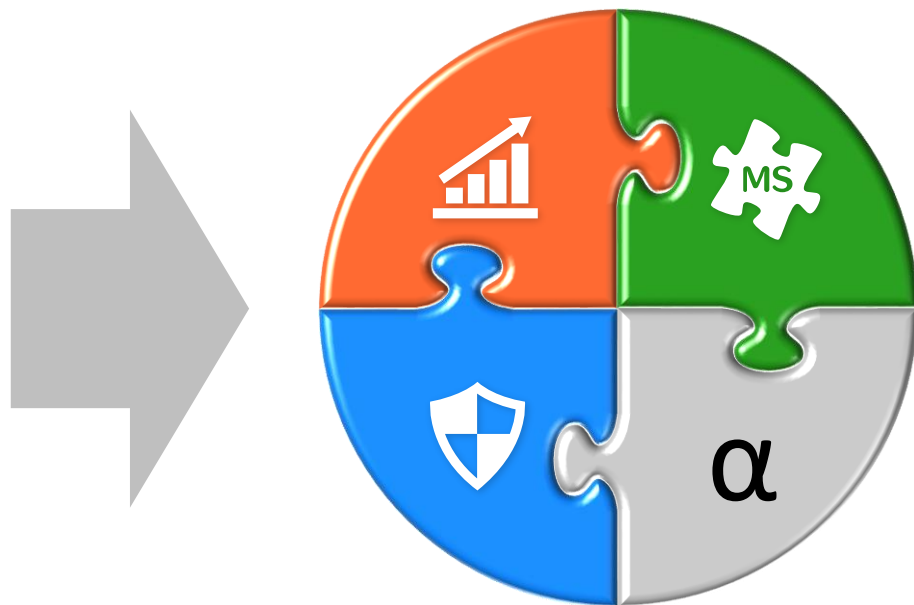
(※1)クラウド導入実績は、Office 365、Online Service Gate (OSG)、ADFS on Cloud (AoC)、Sitcore on Cloudの導入実績総数です。
(※2)自社サービスのユーザー数は、OSGとAoCの合計ユーザー数です。

事業シナジーの創出

独自サービスの個別展開



組み合わせることで優位性を確立



- ソフトバンクグループ各社との連携
- 注力事業の拡大
- **新たな事業基盤の立ち上げ**
- 強固な収益基盤の確立

新たな事業基盤の立ち上げ（公共ビジネス）

実績

- ・ ヤフーと協業
- ・ HP案件に注力
- ・ 年間40件程の案件を実施

今後の方針

- ・ SBT主体で案件を獲得
- ・ HP案件で基盤を拡大
- ・ 3つの注力事業を展開



新たな事業基盤の立ち上げ (IoT)

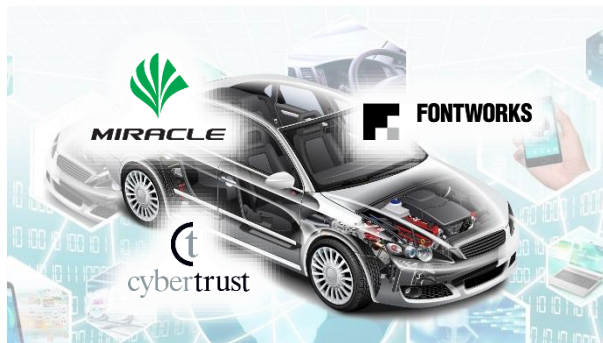
実績



- ・次世代自動車のサービス開発
- ・受付ロボット実証実験
- ・セキュアドローン協議会設立

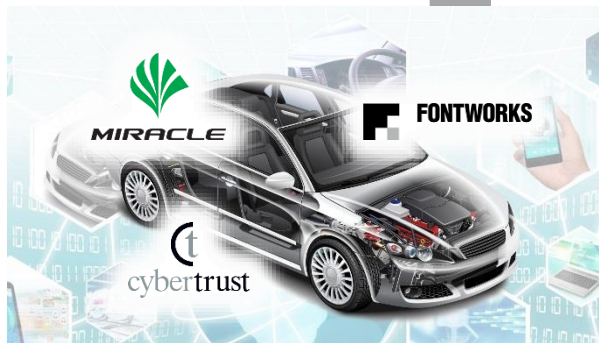
今後の方針

- ・安全なデータ連携や付加価値を創出する「プラットフォームサービス」開発



新たな事業基盤の立ち上げ (IoT)

クラウドにビッグデータとして蓄積



- ソフトバンクグループ各社との連携
- 注力事業の拡大
- 新たな事業基盤の立ち上げ
- **強固な収益基盤の確立**

強固な収益基盤の確立

大型不採算案件の防止



連結経営基盤の確立

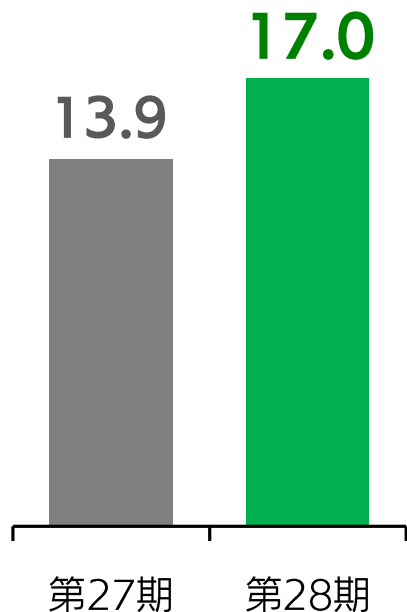


業績予想

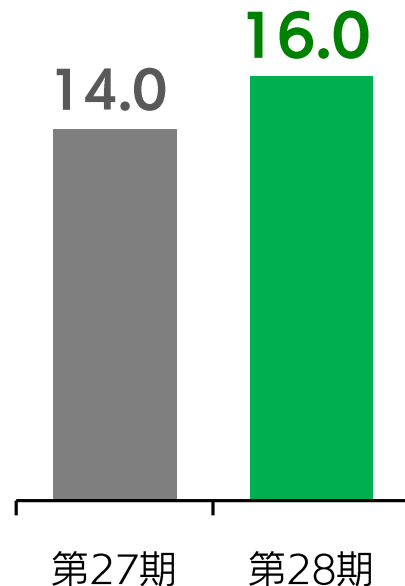
売上高 (億円)



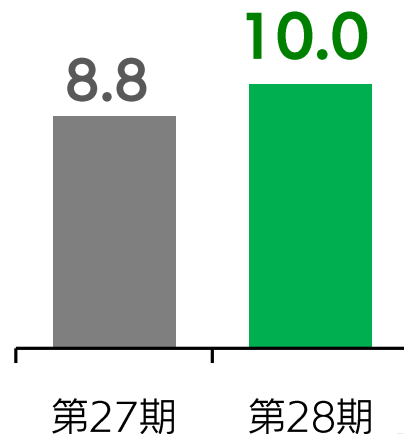
営業利益 (億円)



経常利益 (億円)



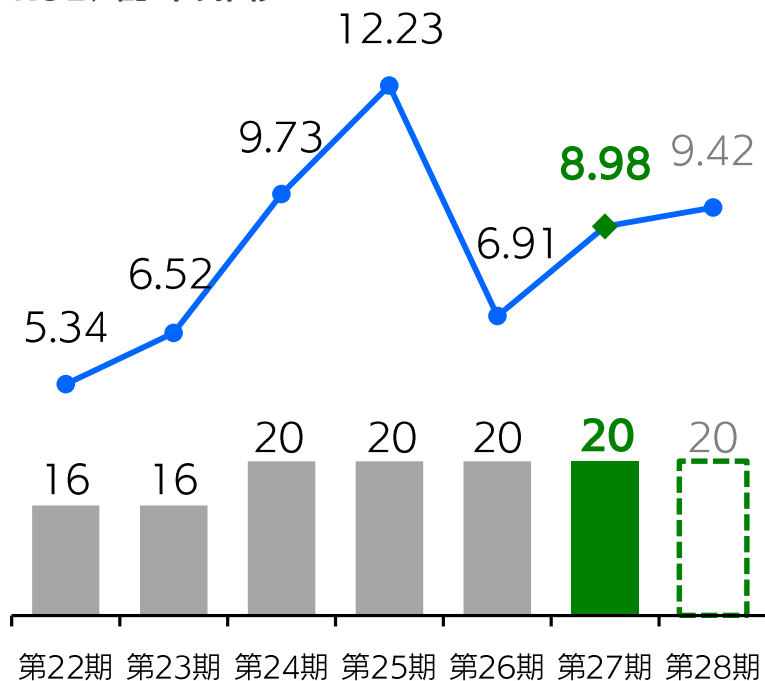
当期純利益 (億円)



配当政策

安定配当を継続、事業成長による企業価値向上により還元

ROE、配当の推移



売上、株価の推移



免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、及びその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、様々なリスク及び不確実性が内在しています。実際の業績等は経営環境の変化等、様々な要因により、これら見通しと大きく異なる可能性があります。



情報革命で人々を幸せに
～ 技術の力で、未来をつくる～

ソフトバンク・テクノロジー グループ



ソフトバンク・テクノロジー



エムソリューションズ



FONTWORKS

フォントワークス



環



サイバートラスト



ミラクル・リナックス



モードツー